



特定非営利活動法人アスクネット

2021年度 年次報告書

年表

法人年表

事業年表

1999年
愛知私学教育ネットとして事業開始

2001年
愛知市民教育ネットに改名
特定非営利活動法人
(NPO法人) 格取得

2003年
経済産業省
市民活動活性化モデル事業
高校生のための情報誌『S-ch.001』
(後の『Schan』) 創刊
※現在休刊中

2006年
アスクネットに改名

2015年
第5回キャリア教育アワード経済産業
大臣賞受賞

2017年
5カ年の中期ビジョン開始

2021年
認定NPO法人取得

- 1999年 教育イベント支援スタート
- 2000年 愛知私学関連事業開始
- 2001年 市民講師ナビ事業開始
- 2004年 文部科学省 地域子ども教室推進事業（安城まちの学校）
- 2005年 日本たばこ産業株式会社助成事業「中高生のための社会起業家ナビ」
経済産業省 地域自律・民間活用型キャリア教育プロジェクト
- 2006年 教育CSR事業開始
アイシン精機株式会社「アイシン青少年環境教育事業」
経済産業省 チャレンジ・コミュニティ創成プロジェクト
(大学生実践型インターンシップ)
高浜市「たかはま夢・未来塾」
- 2008年 経済産業省 キャリア教育民間コーディネーター
育成・評価システム開発事業（中核コーディネーター）
- 2009年 経済産業省
キャリア教育民間コーディネーター育成・評価システム開発事業
愛知県 ふるさと再生雇用基金人材育成コーディネート推進事業
- 2010年 高校生公募型 「マイチャレンジインターンシップ」 開始
内閣府 地域社会雇用創造事業
ソーシャルビジネスエコシステム創出プロジェクト
- 2014年 愛知県 キャリア教育コーディネート人材育成事業
- 2015年 高浜市 学習支援事業
安城市 健康都市推進アクションプラン
- 2016年 名古屋市 学習支援コーディネート事業
愛知県 キャリア教育コーディネーター活用事業
- 2017年 大府市 大府市学習支援コーディネート事業
岐阜県 池田町 コーディネート事業
- 2018年 教育関係者向け研修会「ENGINE」開催
次世代リーダー育成プログラム「アスキミキャンプ」実施
- 2019年 私立高校探究プログラム 開始
名古屋市 高校生世代に対する学習・相談支援事業
- 2020年 高校生探究プログラム「SPIRAL」開始
- 2021年 オンラインユースセンター構築事業「SHIP」開始
名古屋市子ども会アシストバンク事業 開始
新型コロナウイルス感染症の影響で体験活動を失った子どもたちへの
支援プロジェクト実施

事業戦略（ミッション、事業一覧）

-アスクネットの使命・ミッション-

地域の学校・市民・企業・行政・各種団体などと協力して、互いが

「学び合い育ち合う共同体づくり」を進める。

そこでの出会いをきっかけとして、人々とりわけ子どもたちが夢や目標をもって挑戦し、その中で成長していく学習を創造する。

これらの多様な「出会い」と「挑戦」の機会を通じて、自らの人生を主体的に切り開き、社会をよりよくしていく主体者へと成長する過程を支援することで、誰もが心豊かに暮らせる社会を実現し、社会全体の利益の増進に寄与することを目的とする。

-事業一覧-

対象者	事業内容	企業数	学校数	参加人数	その他	対象事業名
小学生	環境学習	10社	21校	1,478人		教育CSR事業
小・中学生	ものづくり講座	講師・企業数31	60校	3,392人	愛知県内全域	モノづくり魂浸透事業
小・中・高校生	社会人講話	212名 (講師)	29校	8,261人		市民講師ナビ事業
中・高・大学生	学習支援 (小・中・高)			128人	高浜市、大府市、外国籍の学習支援事業合計	学習支援事業
	学習支援ボランティア (高校・大学生)			175人		
高校生	インターンシップ	のべ 906事業所	35校	2,512人	学校独自型35校 (私立17校 公立18校)	市民講師ナビ事業 キャリア教育コーディネーター活用事業
大学生	社会人講話		2校	180人	キャリアデザインなど	市民講師ナビ事業
教員	教員研修会		6校	127人	キャリア教育推進	キャリア教育コーディネーター活用事業
一般市民	認定キャリア教育コーディネーター育成講座			19人	類計178名(2010年より)	キャリア教育コーディネーター育成事業
	活動アシスタント			15人		名古屋子ども会活動アシストバンク事業
	イベント提供 プラン提供	20団体 20団体				

※2021年度はその他の事業は実施していません。

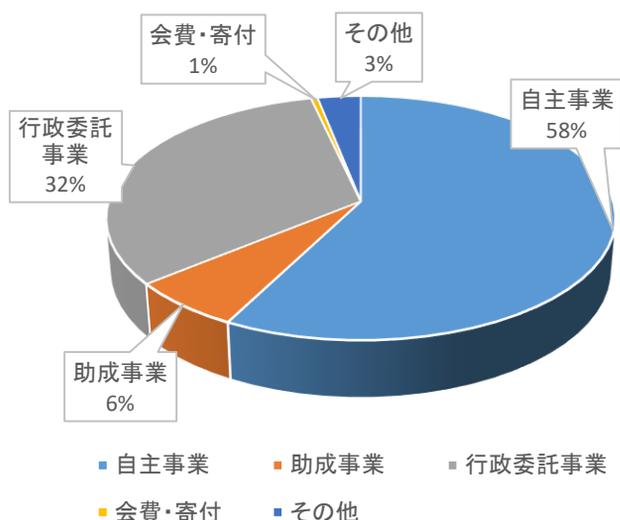
事業概況

- 2021年度事業決算 -

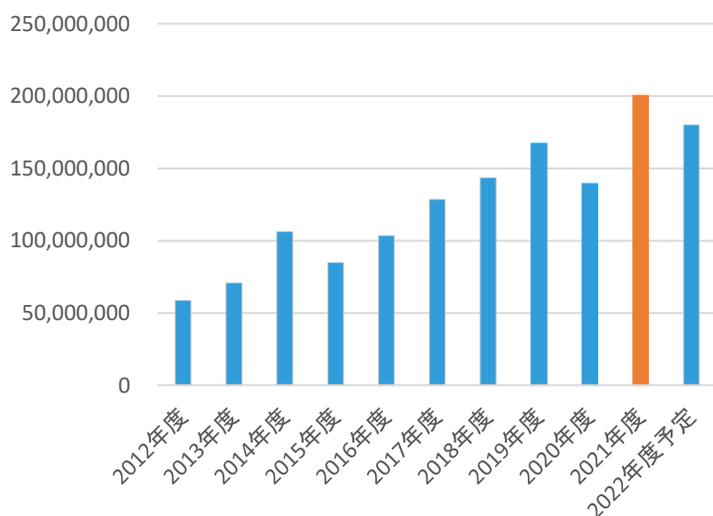
4ページ	市民講師ナビ事業	自主事業	約 9,884万円
5ページ	教育CSR推進事業	自主事業	約 778万円
6ページ	キャリア教育コーディネーター育成事業	自主事業	約 237万円
	教育団体協働事業	自主事業	約 31万円
	教育イベント推進事業	自主事業	約 11万円
7ページ	出会いと挑戦の教育普及啓発事業	自主事業	約 612万円
10ページ	SPIRAL事業	助成事業	約 800万円
11ページ	オンラインユースセンター構築事業	助成事業	約 350万円
12ページ	学習支援事業（外国籍学習支援）	助成事業	約 146万円
	学習支援事業（大府市委託事業）	行政委託事業	約 759万円
13ページ	学習支援事業（高浜市委託事業）	行政委託事業	約 1,674万円
15ページ	学習支援コーディネート事業（名古屋市委託事業）	行政委託事業	約 521万円
15ページ	モノづくり魂浸透事業（愛知县委託事業）	行政委託事業	約 581万円
	モノづくり体験講座（愛知县委託事業）	行政委託事業	約 66万円
16ページ	キャリア教育コーディネーター活用事業（愛知县委託事業）	行政委託事業	約 1,408万円
17ページ	子ども会活動アシストバンク事業（名古屋市委託事業）	行政委託事業	約 984万円
	キャリアプラン早期育成事業（愛知县委託事業）	行政委託事業	約 474万円
	会費	会費	約 85万円
	寄付	寄付	約 11万円
	雑収入	雑収入	約 158万円
	その他	その他	約 465万円

計 約 20,035万円

- 事業財源内訳 -



- 事業規模推移 -



-市民講師ナビ-

新型コロナウイルスの影響がまだ残る中、感染防止対策をしながらプログラムの実施の可能性を探り続けた1年であった。インターンシッププログラムは学校・受入先と念入りに打ち合わせを行い、生徒が安全かつ効果的に学びを得られるようにコーディネートした。結果的には過去最大の参加校数・参加人数となった。社会人講座においてもオンライン講座なども活用し、Withコロナにおける新しい社会人講座のあり方を構築していくことができた。

私立高等学校インターンシップ実施状況

17校 1,589名の生徒が
インターンシップ体験活動を実施



【2021年度実施校】

愛知黎明高校、市邨高校、誠信高校、同朋高校、高蔵高校、東海学園高校、南山高校女子部、椛山女学園高校、聖霊高校、愛知淑徳高校、安城学園高校、岡崎城西高校、杜若高校、豊川高校、豊橋中央高校、黄柳野高校、桜丘高校（計17校）

- 課題解決型インターンシップ
- 進路探究型インターンシップ
- 探究講座×インターンシップ
- PBL型学習×インターンシップ 等



中学校～大学における社会人講座実施状況

29校 延べ8,261名の生徒・学生が
社会人講座を受講

延べ212名の講師が講座実施

- 定番の職業講話やマナー講座も継続実施
- オンラインを活用した講座も多数実施
- SDGsや大学進学など設定されたテーマを通じたキャリア教育講座も見られた



昨年度は新型コロナウイルスの影響で大きく落ち込んだ本事業であったが、参加校数・参加人数ともに過去最大となり、V字回復を果たすことができた。規模拡大だけでなく、新学習指導要領に即して探究学習とインターンシップを掛け合わせたプログラムを複数校で実践するなど、コーディネート内容的にも飛躍した1年であった。学校も企業もコロナ対策で追われる中、キャリア教育が止まらず展開をされたことは、両者をつなぐコーディネーターの存在価値を広く社会に伝える機会にもなったと感じる。

-教育CSR推進事業-

企業が学校教育に主体的に関わり、児童の成長のみならず事業効果を生み出し、積極的に教育に投資する潮流を生み出すことを目指す。事業実施にあたっては、行政など他のセクターとも連携。2021年度は、長期化するコロナ禍においても、昨年度実現した、「リモートオンライン」による運営も活用しながら、講座やエコトークセッション（学習発表会）など、適宜、関係講師や実施校教員とともに持続可能な環境学習の学びを積み上げた。

環境学習（2021年度）

21校 1,478名 の児童に
年間プログラムを実施

- 行政とも連携し、アイシングループ・10社の事業所のある12市町で実施。
- 近隣地域の小学校で環境教育を通じて将来の担い手となる児童の育成をはかる。
- 小学4～5年生を対象に森・水辺・くらし・産業からテーマを選定。
- 8月には「愛・シンフォニーコース（教員研修）」を2年ぶりにオンラインにて実施。愛知教育大学・加納教授と今井光代講師を招き、愛・シンパシーゲームの内容理解や総合的な学習との関連付けなど、参加教員と理解を深めた。



■支援企業一覧

株式会社アイシン※、アイシン高丘株式会社、
アイシン化工株式会社、アイシン開発株式会社、
アイシン機工株式会社、アイシン辰栄株式会社、
豊生ブレーキ工業株式会社、株式会社アドヴィックス、
シロキ工業株式会社、アート金属工業株式会社
※2021年4月1日付にて「アイシン精機株式会社」と
「アイシン・エイ・ダブリュ株式会社」が合併。

長期化する新型コロナウイルス感染症対策のため、状況に応じてリアル対面での講座運営とリモートオンラインによる運営を交えて実施した。これまで大切にしてきた、環境学習プログラムを各校の教員に粘り強く寄り添いながら、担当コーディネーターは、その価値を子どもたちに提供した。

～キャリア教育コーディネーター育成事業～

キャリア教育コーディネーターネットワーク協議会との連携の下、キャリア教育コーディネーター育成講座を実施した。学校や児童生徒の状況も理解し、教員と共に学びのねらいを考えた上で、効果的なプログラムを学校に提供するために、座学と実践の両面から研修を実施している。

2021年度受講者

エントリーコース受講者 **19** 名 (名古屋13名・静岡6名)

実践コース受講者 **13** 名 (名古屋11名・静岡1名)

■キャリア教育基礎講座 兼 育成研修説明会

- ①多様な子どもたちの、社会と繋がるキャリア形成
- ②SDGsを通して深める高校生の「キャリア教育」と「探究活動」
- ③地域で育む子どもの「生きる力」～自治体・企業の実践例を通して～
- ④子ども達の学びを創るために私たちにできること



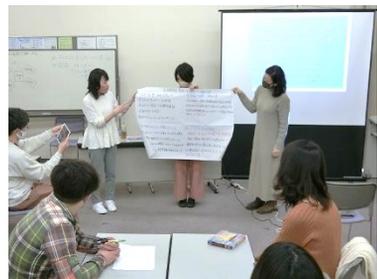
■キャリア教育実践基礎講習 (4日間にわたる座学研修)

- 第1回：キャリア教育コーディネーター概論
- 第2回：地域でおこなうキャリア教育と教育行政
- 第3回：児童・生徒等の発達とキャリア教育ではぐくむ力
- 第4回：キャリア教育のプログラム開発



■実践コース

小学校1校、中学校2校、高等学校2校 計5校の協力校において、職業講話のコーディネートを実践。



2010年より、育成講座受講者数
累計

178 名 キャリア教育の理解・普及に貢献している。

2021年度のキャリア教育コーディネーター育成研修は、昨年度に引き続き、名古屋会場と静岡会場で開催した。

今年度は教員・企業人事担当者など、様々な背景をお持ちの方が受講生として集まってくださった。学校での実践経験がない方がほとんどであったため、実践コースで学校現場に入らせていただくことで、学校と地域を繋げる活動のやりがい、楽しさ、難しさなどを体感してもらえた。

コロナ禍において実践コースが無事に実施できるかの懸念があったが、オンラインや講座形式の工夫などをすることにより、すべての協力校で講座の実施をすることができ、学校からのニーズの高さもうかがえた。

－出会いと挑戦の教育普及啓発事業－

(池田町キャリア教育コーディネーター)

(文部科学省 小・中学校における起業体験推進事業)

【池田町キャリア教育コーディネーター】

アスクネットが育成講座を受講した岐阜県揖斐郡池田町のキャリア教育コーディネーター2名が中心となり、池田中学校にて「池中15のREAL」と「7物語」を実施した。

■「池中15のREAL」

将来地元で働く選択肢が1つでも多く生まれるように、「働く大人の思いに触れる機会」を創出することを目的とした。

■参加生徒

池田中学校3年生239名

■講師

講師15名

農業者、保育士など



■「7物語」

身近な外国出身者から出身国の様子を聞くことで、外国への理解を深めるとともに、多様な文化や社会に触れる機会とした。

■参加生徒

池田中学校1年生231名

■講師

外国籍の講師7名

ベトナム、スペインなど



今年度も当初の予定通り「池中15のREAL」、「7物語」の2つの社会人講師講座を実施した。今回初めて協力いただいた講師はもちろんのこと、昨年度に続き参加して下さる講師もいたため、これらのプログラムが、池田中学校と地域のつながりを深く、かつ広くしていくものとしても機能していることが感じられた。

【文部科学省 小・中学校における起業体験推進事業】

アスクネットが社員団体である、一般社団法人キャリア教育コーディネーターネットワーク協議会にて受託した「文部科学省 小・中学校における起業体験推進事業」について、他団体と協働して「実践事例集」の学校事例の取材と編纂を行った。

■取材対象校と内容

取材対象校9校のうち、アスクネットでは2校の取材をおこなった。

① 萩市立福栄小中学校

「農業の6次産業化を体験（もち米プロジェクト）」

② 浜松中部学園

「企業連携で取り組む木工製品の製造・販売（中部キッズチャレンジビジネス）」



実践事例集

WEBページはこちら

今回作成した「実践事例集」は全国の起業体験事例や基本となる実践方法を体系的にまとめた資料となっている。起業体験の基本要素と多様な事例を見て頂き、全国の先生方が、起業体験を始めるための一助になれば幸いである。



－出会いと挑戦の教育普及啓発事業－

(日進市)

今年度、日進市において、市内の子どもたちが中心となり、音楽会を企画・開催する実行委員会と、子どもたちが地域の魅力を伝える広報誌を制作する子ども編集部の活動をサポートした。

■ にっしんこどもがつくる音楽会 (日進市民会館指定管理者 日進アシスト株式会社)

日進市内在学の子どもたちが集まった実行委員会が、約7ヶ月間の活動を通し、音楽会を企画・開催するためのサポートを行った。実行委員会として準備を進める上でのアイデア出しや、ポスターのデザイン、演出の工夫、当日の受付・音響・照明など、出演者ではなく、裏方の仕事を体験しながら、その楽しさや大変さを知ると同時に、達成感を得たり、他者と協働したりすることを経験した。

■ 参加生徒

日進市内在学の小・中学生38名

小学校 9校 34名

中学校 2校 4名



■ にっしん子ども編集部 (日進市教育委員会 生涯学習課)

日進市内在学の子ども21名で結成したにっしん子ども編集部が、5回の編集会議で、日進の魅力を発信する広報誌を編集する活動のサポートを行った。日進の魅力について意見を出し合ったり、記事の内容を決める際のポイントやインタビューの仕方などをプロフェッショナルの方から学んだりして、掲載内容の相談や取材も子どもたち自身で行った。役割を決めてそれぞれが主体的に取り組み、協力して1つの広報誌「日進子どもニュース」を制作した。

■ 参加生徒

日進市内在学の小・中学生21名

小学校 6校 20名

中学校 1校 1名



地域で活躍されている大人にご協力いただきながら、子どもたちが学校を飛び出して挑戦できる場をつくることができた。

達成感を感じたり、他社と協働することの楽しさを知る機会となっただけでなく、地域に目を向け、地域の魅力を再発見するきっかけとなった。

－出会いと挑戦の教育普及啓発事業－

(コロナ対策学校支援プロジェクト)

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、学校現場で職場体験等の体験活動が中止・延期になっており、子ども達が学校外の大人との出会いや交流の機会が減ってきています。

そうした現状を受けて、体験活動が実施できなくなった学校に対し、地域の大人との交流や社会に触れる機会を減らさないため、学校へ代替プログラムを提供するプロジェクトを進めてまいりました。

申込まいただいた7校にて職場体験等の体験活動の代替となるプログラムを実施してきました。本プロジェクトに係る費用をクラウドファンディングで募り、54名の方にご支援をいただきました。

実施校（7校）

愛知県立安城農林高等学校
安城市立明祥中学校
名古屋市立左京山中学校
名古屋市立高針台中学校

名古屋市立名塚中学校
名古屋市立日比野中学校
名古屋市立北稜中学校

上記7校のうち1校を抜粋して紹介します。

■「安城市立明祥中学校～職業体験～」

生徒は午前中にマナー講座を受講し、社会人講師の話を聞く姿勢やあいさつの仕方を学びました。午後からは各講師の講座に分かれて職業のお話を聞き、その後、仕事体験をさせて頂いた。

■参加生徒

安城市立明祥中学校2年生 133名

■講師

マナー講座

技術職

サービス（美容師）

第一次産業（梨農家）

小売（和菓子製造販売）

公共（消防）

管理栄養士

環境

株式会社マナーマネジメント名古屋 木村 有紀 さん

株式会社 安城電機 常務取締役 斎藤 光正 さん

Beauty Salon J代表 村田 純 さん

増田梨園 増田 貴子 さん

安城とらや代表 梅村 純夫 さん

安城消防署南分署 警防1係 消防司令補 小笠原 圭祐 さん

株式会社勤労食 管理栄養士 水野 邦悠 さん

株式会社環境公害センター取締役 総務部・品質保証部 牛古 誠 さん



新型コロナウイルス感染拡大の影響が長期化し、職場体験をせずに卒業する児童・生徒が出てくる可能性が出ております。本プロジェクトを通じて、様々な業種の方に学校へ来ていただくことで、社会で働く大人のやりがいや苦労、職業選択の幅を広げる等のねらいに合わせて講座を実施しました。

未だ予断を許さぬ状況ではございますが、引き続き学校や地域と連携をしながら、子ども達に学びの場を提供していきたいと思っております。

-SPIRAL事業-

2020年度より、一般財団法人三菱みらい育成財団の助成を受け、高校生の探究プログラム「SPIRAL」を実施。医療・農業・伝統産業・テクノロジー・地球環境・フェアトレード・教育・まちづくり・社会福祉・多文化共生の10分野に関して、「2030年の未来」をより良くするための探究活動をおこなう高校生を公募。約5ヶ月間の探究活動をおこなった。SPIRALに参加した高校生は、フィールドワークやアンケート調査、インタビュー調査等どのような社会課題があるのかを洗い出し、仲間と話し合い、解決策を導き出した。

■SPIRALプログラム参加者

◎参加高校生

Challengers Forum（社会課題に向き合う大人との出会い）

: 50名

Challengers Labo（高校生たちによる探究活動）

: 36名

◎伴走支援者

アドバイザー（分野における社会起業家）

コーディネーター（高校生の学びをナビゲートする支援者）

大学生サポーター（高校生にとって一番身近な応援者）

: 30名（それぞれ10名ずつ）

■Challengers Labo参加高校生 所属校

<私立>

愛知高等学校／愛知みずほ大学瑞穂高等学校

椋山女学園高等学校／聖霊高等学校／滝高等学校

中京大学附属中京高等学校／名古屋経済大学高蔵高等学校

南山高等学校女子部／南山高等学校男子部

名城大学附属高等学校／京都国際フランス学園

<公立>

愛知教育大学附属高等学校／旭野高等学校／春日井高等学校

春日井東高等学校／小坂井高等学校／瑞陵高等学校

豊橋工科高等学校／三好高等学校

名古屋市立北高等学校／名古屋市立山田高等学校



2020年度より始まった新事業「SPIRAL」。昨年度の実践から改善を加え、フィールドワークや合宿を追加し、より実社会で起こっている社会課題を自分事として捉え、チームで協働しながら正解のない問いへと挑めるようプログラムを展開した。また参加生徒や大学生サポーターから自主的にプロジェクトが生まれ、SPIRALの真の目的である「Challengers Ecosystem（挑戦者たちの生態系）」の構築が進んだ1年であった。

-オンラインユースセンター構築事業-

2021年度、大和証券グループ未来応援ボンドこども支援団体サステナブル基金の助成を受け中高生向けオンラインキャリア教育プログラム「オンラインユースセンター-SHIP-」を実施した。3か月1期の期間の中で、学習支援機能・キャリア教育機能・相談交流機能・伴走支援機能の4つの機能を通じて「自分のやりたいこと＝“ミッション”を見つける」ことを目標にプログラムを行った。

-SHIP-に参加した生徒たちは、社会で活躍する多年代の講師の話聞き、ワークショップにて自らの興味関心を深めたことで、これから学校生活、部活、別プログラムへの挑戦などオンラインの学びを実社会につなげていった。

■オンラインユースセンター-SHIP-参加者

◎実施回数 1期5～7月・2期9～12月 全**31**回

◎参加生徒数**22**名

◎全31回のべ参加者数**81**名

◎オンラインユースセンター実施協力者
講師（キャリア教育機能講師）
ユースサポーター（ボランティアサポーター）

27名

■参加中高生所属校

<私立>

昌平高等学校／名古屋高等学校／南山高等学校女子部

<公立>

愛知総合工科高等学校／大府中学校／刈谷北高等学校
豊橋工科高等学校／名古屋市立北高等学校／三好高等学校



2021年度より始まった新事業「オンラインユースセンター構築事業」。“すべての子ども達に学びの場の多様性を”を合言葉に、オンラインキャリア教育プログラムを実施した。2020年より続いている新型コロナウイルスの感染拡大による機会損失の影響は、子ども達の学びの場づくりとは切り離せない。しかし同時に大きく飛躍したデジタル技術を活用し、新たな学びの場の可能性を見いだすことができた。プログラムに参加した生徒は、「オンラインで学んだことを実社会でも挑戦していきたい」と次なるプログラムへの参加や、学校生活の変化が見られた。

今後の社会の変容についても、柔軟に対応することができるオンラインユースセンターの可能性を、今後も構築していきたい。

【外国籍学習支援（たかはまがくしゅうサポート）】

「赤い羽根 新型コロナ感染下の福祉活動応援全国キャンペーン「居場所を失った人への緊急活動応援助成 第3回」」の助成金を活用し、高浜市に在住する主に生活困窮世帯に属し、外国にルーツを持つ児童・生徒を対象とした学習支援「たかはまがくしゅうサポート」を実施した。小学1年生から中学3年生を対象とし、毎週火曜日（16:00～20:00）に学習支援教室を開催し、中国、フィリピン、ブラジルなど、様々な国にルーツを持つ子どもが参加した。

46回 10名の児童・生徒が学習支援教室に利用登録

■参加児童・生徒

・のべ**251名**が参加 ・1回当たり約**5.5名**

■学習支援ボランティア

・のべ**71名**が参加 ・1回あたり約**1.5名**

2020年度に続き、助成金を活用して外国籍学習支援事業を実施した。それぞれの日本語理解や学習状況に合わせた個別支援を行い、学校とも参加者の様子を定期的に共有することで、きめ細かな支援を行った。

【大府市学習支援事業（まなポート）】

大府市の委託事業として中学生に対する学習支援事業を実施した。市内の4か所の公民館を会場として、67名の登録生徒に対する支援を行った。大府市内外の地域スタッフが運営責任者として教室運営を行うとともに、来年度の自立化に向け再度ビジョンの擦り合わせや組織の体制をと整えた。

■登録生徒数

・横根公民館 19名
・東山公民館 18名
・長草公民館 11名
・森岡公民館 19名

合計**67名**

■参加生徒 延べ人数

・横根公民館 507名
・東山公民館 438名
・長草公民館 325名
・森岡公民館 418名

合計**1,688名**



■学習サポーター

・学習サポーター**123名**（体験含む）

・各会場1回当たりの人数平均**4.2名**

・延べ**797名**

■イベント

全公民館合計で**19回**実施

読書感想文講座、英語講座、高校進学に関する講座、

クリスマス会などの4館合同交流等

自立化に向けての最終年度となり、他団体との連携をしながら、子どもたちの“居場所”となれるように実施してきた。大学生サポーターの参加人数も昨年度同様に多く、自立化後の運営体制の土台をよりしっかりと作ることができた。

—学習支援事業（高浜市委託事業）—

【ステップ】 ※写真は過去の活動写真を含みます。

高浜市在住の生活困窮世帯に属する小学生を対象とした学習等支援事業「ステップ・ジュニア」、中学生・高校生を対象とした学習等支援事業「ステップ」を実施した。対象児童・生徒は、生活保護受給世帯、就学援助受給世帯、その他困窮のリスクが高い児童・生徒（母子・父子親家庭、不登校、特別支援学級、著しい学習遅滞等）とし、ステップ・ジュニアは毎週木曜日と土曜日に、ステップは毎週土曜日に、高浜市いきいき広場で学習支援教室を開催した。ステップ・ジュニアでは児童の学習支援は地域支援員と高校生ボランティアが主に行い、宿題等を取り組む“学習タイム”と、楽しみながら学べる“講座タイム”を実施。ステップでは生徒の学習支援は大学生ボランティアが主に行い、学習の支援と、生徒のキャリア支援のため、月1回程度、社会人や大学生による講座を行った。また、土曜日や長期休暇中の実施日は、高浜市のボランティア団体が昼食の支援を行った。2021年度は昨年度から引き続き新型コロナウイルス感染症対策として、参加時間の分散、マスク・検温・消毒等の徹底を行い、感染対策に留意しながら実施した。

2021年度

62回 **38名**の中・高生が

学習支援教室に利用登録

■参加生徒

・のべ**702名**の生徒が参加

・1回あたり約**11.3名**

■昼食支援

・利用生徒延べ**213名**

・1回あたり約**6.9名**

・登録支援団体**15団体**

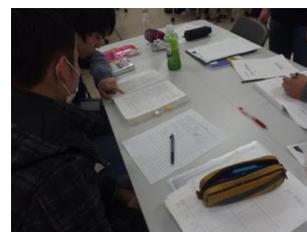
■学習支援ボランティア

・学習支援ボランティアの活動者数**37名**

・参加人数のべ**421名**（見学・体験の数も含む）

・1回あたり約**6.8名**

・チャレンジサポーター研修3回実施



—学習支援事業（高浜市委託事業）—

【ステップ・ジュニア】 ※写真は過去の活動写真を含みます。

2021年度

106回 13名の小学生が
学習支援教室に利用登録

■参加児童

・延べ**613名**の児童が参加

・1回当たり約**5.8名**

■昼食支援

・利用児童延べ**172名**

・1回あたり約**5.4名**

■学習支援ボランティア

・高校生 学習支援ボランティアの参加人数**8名**

・参加人数延べ**80名**（見学・体験の数も含む）



高浜市学習等支援事業では、「ステップ」（中学生・高校生対象）と「ステップ・ジュニア」（小学校4～6年生）と、小学校から高校までの一貫した支援体制を構築している。2021年度は新型コロナウイルス感染症対策を意識しながらも、可能な限りこれまでの活動を継続して行えるよう運営を行った。ステップ・ジュニアでは、毎日の宿題に取り組むだけでなく、毎月自分たちでやりたいことを考え、実行する講座を行い、互いに思いやりながら楽しく学ぶことができる環境作りに取り組んだ。ステップでは、キャリア教育講座の実施に加え、普段学習を教えてくれるチャレンジサポーターにインタビューをする機会を設け、普段の活動の中で生徒たちが主体的に他者と対話をする場づくりに取り組んだ。また、地域の方をお招きしての「クリスマス感謝祭」は今年度も中止となったが、今年度も大変お世話になった地域の方へ感謝を伝えるため、生徒が一丸となりオーナメント作りに取り組んだ。昨年度に続き、チャレンジサポーターは、大学生を中心にしつつ、「ステップ」を卒業した社会人・大学生も参加しており、「支援される側から支援する側へ」という循環も生まれてきている。

–名古屋市学習支援コーディネート事業–

(名古屋市委託事業)

–モノづくり魂浸透事業– (愛知县委託事業)

【名古屋市学習支援コーディネート事業】

2020年度に続き、家庭環境や学力面で高校進学に課題を抱えるひとり親家庭、生活保護世帯及び生活困窮世帯の中学生を対象として、別に運営する「名古屋市中学生の学習支援事業」における学習支援事業受託者間の連携強化及び子どもの学習支援事業にかかるネットワークの構築をはかった。なお、本事業においては、株式会社スターシャル教育研究所とコンソーシアムを組み、「子ども縁の下サポーター」として運営を行った。

学習支援受託業者27事業所

全**150**教室の生徒たちの運営に関するサポートおよびコーディネーションを実施



- | | | | | | |
|-----------|-----|----|-----------|-----|----|
| ■ 事業実施責任者 | 連絡会 | 2回 | ■ 運営責任者 | 研修会 | 2回 |
| ■ 学習サポーター | 研修会 | 3回 | ■ 学習サポーター | 交流会 | 2回 |
| ■ 全体会 | | 1回 | | | |

2021年度も引き続き、27事業者が全150会場（定員1800名）で学習支援を実施した。アスクネットは引き続き、学習支援の運営関係者や学習サポーター等を対象とした研修の実施を担当し、延べ382名が参加した。講演形式だけでなく、参加者同士の意見交換や情報共有に重点を置き、新型コロナウイルス感染症対策としてオンライン配信を行う等、研修の運営を行った。

【モノづくり魂浸透事業】

モノづくり人材の育成を目的とした「モノづくり魂浸透事業（学校派遣事業）」を受託。技能尊重気運を高め、児童・生徒に技能者への憧れやモノづくりへの関心を深めることを目的に、技能五輪メダリスト等の技能者を県内の小学校、中学校及び特別支援学校へ派遣する「派遣講座」、および技能五輪・アビリンピックを目指す選手が行う練習の「見学会」を実施した。

2021年度 愛知県内の小・中学・特別支援学校

60校 3,392名が参加

■ 実施講座例

- ・ 電子機器組み立ての「匠」とマイネームライト作り
(トヨタ自動車株式会社 技能五輪国際大会種目 電子機器組立て 元世界チャンピオン 他)
- ・ 間伐材を活用したFREE棚の製作
(清水建設株式会社 東京木工場 技能五輪メダリスト) など



派遣講座に加え、今年度は新たに選手の練習見学会を行った。技能五輪選手が真剣に技能を磨いている姿は、児童・生徒の技能者への憧れを一層高める機会となっていた。事後アンケートにて、「自分には向いていないと思っていたけれど、実際にモノづくりを体験してみると楽しかった」という感想が多かった。体験の重要性和、モノづくりの達成感が伝わっていた。

「キャリア教育コーディネーター活用事業」 (愛知県委託事業)

愛知県教育委員会より指定を受けた県立高等学校18校をモデル校とし、キャリア教育コーディネーターを配置することで、モデル校におけるキャリア教育の促進を図ることを目的とした。主に「インターンシップ等体験活動の連絡調整・企画・実施」、「教員を対象としたキャリア教育に関する研修会等への講師派遣及び企画・運営支援」、その他指定校におけるキャリア教育の支援を実施した。

■事業の内容

＜インターンシップ等体験活動プログラム＞

県立高等学校18校をモデル校とし、インターンシップ等体験活動のコーディネートを実施

※2021年度モデル校：

守山高等学校、惟信高等学校、五条高等学校、横須賀高等学校、東浦高等学校
内海高等学校、武豊高等学校、豊田東高等学校、松平高等学校、足助高等学校
三好高等学校、幸田高等学校、碧南高等学校、知立東高等学校
高浜高等学校、豊橋西高等学校、御津高等学校、蒲郡東高等学校

＜教員研修＞

県立高等学校6校を指定校にとし、各校にて研修会を実施
また普通科・総合学科の教員を対象とした研修会を2回実施

※2021年度指定校：

松蔭高等学校、瀬戸高等学校、阿久比高等学校
豊田北高等学校、西尾東高等学校、田口高等学校



■モデル校の生徒 **923**名が
1～3日間のインターンシップ等、体験活動に参加

■教員研修会として、計**8**回 **127**名の
県立高等学校教員に対し、キャリア教育推進に
つなげる目的で研修会を実施

今年度も、新型コロナウイルスの影響によるプログラム変更や延期、中止を余儀なくされる事態はあったものの、概ね各校体験活動を実施することができた。本事業モデル校指定の3年目を迎える学校が、全体の大半を占めてはいたものの、指定年数に関わらず、持続可能なプログラムの構築や地域との連携強化等の学校での自走を見据えた体験活動実施のサポートをおこなった。教員研修会では、各校が今学びたいことをテーマとして教員研修を実施した。「理数探究」、「ICTの活用」、「SDGs」と様々なテーマで実施されたことから、学校現場におけるニーズが多様化していることが窺えた。

～名古屋市子ども会活動アシストバンク事業～

(名古屋市委託事業) ※2021年度は名古屋市天白区をモデル事業として実施。

名古屋から、子どもと子ども会を中心とした持続可能なコミュニティプラットフォームを共創することを目的に、名古屋市より事業を受託。本事業は、「なごや子どもエンカレッジコンソーシアム」として、株式会社ウィーケンと共に運営を行った。

アシストバンクウェブサイトの開設

11月30日にアシストバンクの専用ウェブサイトを開設。

◆活動アシスタント（社会人・学生等）15名

ウェブサイト等により、子ども会行事運営を支援する社会人・学生アシスタントを募集し登録した。

◆イベント提供者 20事業所

実費費用のみで行事（講座等）を提供頂く、事業所や個人情報登録し提供。

◆子ども会行事向けプランの提供企業・団体 20事業所

子ども会向けの行事プランを有償で提供頂ける、活動実績のある企業・団体情報登録し提供。

子ども会への相談対応

保護者コミュニティへの草の根クチコミ活動、SNS等開設等、多方面への広報活動の結果、新型コロナウイルスの第5・6波の期間、多くの子ども会行事が開催されなくなるという状況の中、多くの子ども会役員からの相談に対応。

◆子ども会からの相談件数 25件 ◆活動アシスタント行事派遣件数 2件

◆イベント提供者派遣件数 2件

研修の実施

◆基礎研修 2回 / ◆コミュニティ共創研修 3回

登録活動アシスタント及びイベント提供者を対象に、子ども会についての基礎知識や子どもとの適切な関わり方等、子ども会に関わる事前研修として「基礎研修」を開催。

コミュニティプラットフォームの共創に向け、子ども会関係者と潜在関係者（アシストバンク登録候補者）を一同に介し、子どもやコミュニティ共創に対する理解と学びを深め、また、アシストバンクへの周知と募集も兼ねる「コミュニティ共創研修」を開催。



初年度となる今年度は、コロナ禍による子ども会活動への影響は大きく、多くの活動が2年に渡り実施できなかった。しかし、天白区子ども会連合会加盟の子ども会役員を中心に、抱える課題や関係者が本事業に期待することを明らかにした。次年度は、一旦中止となった行事や新役員の方々からの相談がさらに見込まれ、上記の活動をさらに拡大できるように取り組む。

－対外活動実績－

◆弊団体スタッフによる会議等対外活動実績

■ゲスト講師

国立大学法人愛知教育大学 キャリア教育論 ゲスト講師

■講演・講師等

地域における子どもの学びの支援共同研究会 講演

NPOおたがいさま会議 講演

学習支援実施団体情報交換会 パネリスト

学習支援&子ども食堂公開研修会 パネリスト

静岡西部四市新規採用職員合同研修 講師

ユースワーカーフォーラム 分科会講師

■委員

子どもの居場所づくり推進会議 委員

高浜市立南中学校 学校関係者評価委員

文部科学省 消費者教育推進委員会 委員

愛知県 まち・ひと・しごと創生総合戦略会議 専門委員

名古屋市教育委員会「教育事務の管理・執行状況の点検・評価」にかかる有識者会議 委員

■その他

スタートアップ・ユースキャンプ メンター

東海学生アワード バディサポート

全国高校生マイプロジェクトアワード 中部Summit ファシリテーター

IYEO 未来創造会議 メンバー

三菱みらい育成財団助成先交流会 事例共有



ASK NET

団体名称	特定非営利活動法人アスクネット					
所在地	〒 456-0006 愛知県名古屋市中熱田区沢下町8-5 愛知私学会館東館3F					
連絡先	Tel: 052-881-4349 Fax:052-881-5567					
代表理事	山本和男					
スタッフ	菅原伸二 原さおり 櫛谷彩乃 久世和賢	城取洋二 加藤淳子 大谷歩 兼子榛奈	小柳真哉 山地佳奈 山本夢 遠藤奈々美	肥田幹子 佐々木愛理 烏田萌音 森聡子	荒井直人 桑原都糸子 中野仁美 西井礼奈	山田将人 安藤仁美 国枝宣樹 高田郁弥
地域スタッフ	石川晶子 鈴木晶子 広森晶子	石川多恵子 鈴木悦子 古川裕美	伊藤厚子 竹内碧 山川陽子	笠松和子 内藤靖子	唐見美江子 西田枝美子	川井香織 原敏夫
	(2022年4月入職)					
	櫻井彩乃	杉原恵	杉本堅	仲井達哉	山本綾子	

<https://asknet.org/>